■団体名：NPO法人　会津の文化づくり
■所在地：福島県会津若松市金川町15番20号
■TEL：090-4555-7347
■E-mail：K9m1y@yahoo.co.jp

以下は11月28日（火）会津会場でのプレゼン資料です

NPO法人会津の文化づくり

設立：平成17年9月認証
理事長・簗田直幸（学芸員）

●設立のきっかけ

「会津ものしり検定」をはじめた

88新書の発行・・・

◎　団体の目的　◎

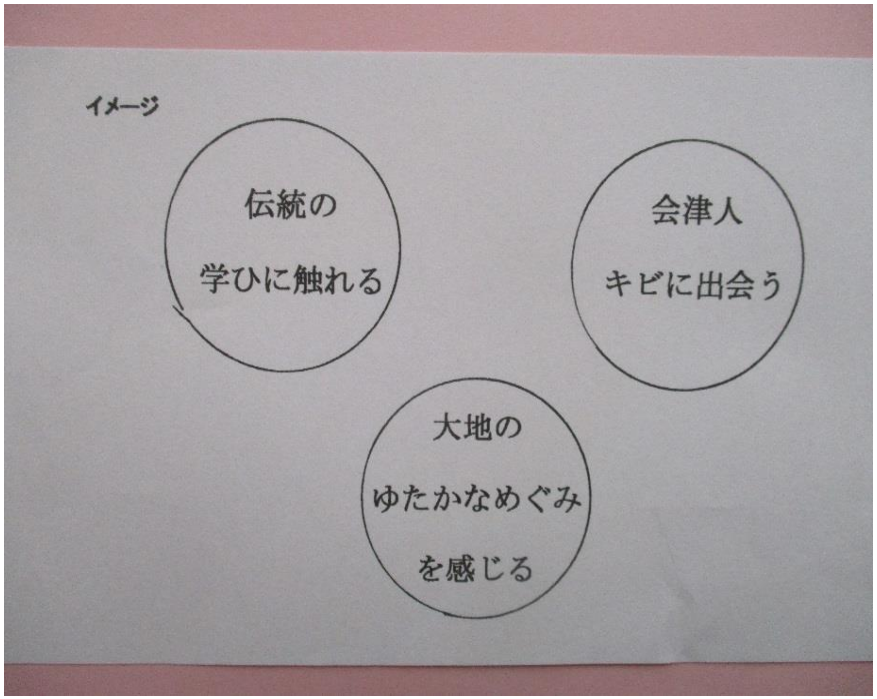
- 会津流域の文化の構築につとめる。
- 古代・中世・近世の会津の歴史をわかりやすく、ものしりで紹介し、明日のくらしにやくだてる。
- 次世代の人びとに、会津の価値を伝える。

私たちの思い、考え

○地域の課題

- まちがって、伝えられている会津の姿が、あちこちにみられる
- まちがって受けとめていて、どうしようもないと思っている会津人が、多い現状
- 地域や個人格差が多いが、仕事も趣味もなく暮している

◎目ざす地域の姿



活動の紹介から

◇温故知新の3シリーズ◇

- 古代～会津仏都の根本をねづかせた僧徳一の存在をクローズアップさせた。
- 中世～葦名一族の研究をする会でシンポ・展示会の実施。
- 近世～戊辰と明治展で、150年前の真実と教訓をみちびきだしている。

- 各シリーズは独立させてきた

今、問うている会津の戊辰戦争

会報　2017年（平成29年）9月7日（木曜日）

会津藩の武士道 考える

若松で記念講演会

明治大教授 落合弘樹さん語る

戊辰150年

会津藩が果たした役割などについて意見を交わす（左から）築田さん、落合さん、稲川さん

会津若松市民有志でつくる会津戊辰戦争百五十周年事業実行委員会の記念講演会「戊辰と明治」は五日、市内の會津稽古堂で開かれた。

明治大文学部教授、明治維新史学会事務局長の落合弘樹さんが講師を務め「明治維新と武士～士道に背きまじきこと～」と題して講演した。落合さんは幕末の武士の本分を自覚・再生する動きの中で会津藩が果たした役割について語った。

講演後、新潟県長岡市の河井継之助記念館長で郷土史家の稲川明雄さんを特別ゲストに招き、会津大短期大学部非常勤講師の築田直幸さんがコーディネーターを務め、落合さんと三人で戊辰戦争とその後の明治時代の会津についてパネルディスカッションで意見を交わした。

戊辰戦争で義を貫いた会津の武士たちの武士道を誇りとする戊辰宣言をまとめた。

協働に向けて

○　活動・組織での悩み困っていること

- NPO法人などの民間団体の活動の手助けになっていない既存（行政・常識）の組織の実情。
- 人件費を生むことが困難で、二足のわらじでやっている。

◎　企業と協働し、サポートしてほしいこと

- 大きく一歩踏み出せる組織の体力（専従2名分）が欲しい。
- 企業よりの出向扱いにしていただけることによる手厚い支援をしていただきたい。
- 3か年間の活動を、ワン・ステップとする。

企業に向けてメッセージ

- 戊辰戦争遺産プロジェクトのスタートは、
  平成30年4月より開始されます。

- 立ち上げにあたり、
  無償ボランティアではない、組織の根本をしっかり
  させられる、手厚いご支援をしていただきたい。

- それらは、
  美しき会津の姿を再発進するための
  実に150年ぶりの真の会津復興となる！